“Beyond Our Limits”
～異次元への挑戦

2025年3月期

中間期決算/会社説明会資料

2024年11月20日

本資料は、最新の業績に関する情報の提供を目的とするためのものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は2024年9月末日現在のデータに基づいて作成されております。なお、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

TOKAI TOKYO FINANCIAL HOLDINGS, INC.
東海東京フィナンシャル・ホールディングス

1　2025年3月期 中間期決算の概況

2　戦略・ビジネスアップデート

3　当社グループのハイライト

4　投資家の皆さまへ

2025年3月期 中間期決算の概況

1

・2025年3月期 中間期決算概要
・東海東京証券のトピックス / 関係会社のトピックス

2025年3月期 中間期決算概要

営業収益(半期累計)
前年同期比 +0.8%
438億円
(1Q: 232億円
2Q: 206億円)

営業利益(半期累計)
前年同期比 ▲10.2%
65億円
(1Q: 45億円
2Q: 19億円)

経常利益(半期累計)
前年同期比 ▲10.8%
73億円
(1Q: 58億円
2Q: 14億円)

親会社株主に帰属する純利益(半期累計)
前年同期比 +8.2%
50億円
(1Q: 32億円
2Q: 17億円)

決算のポイント

Ⅰ. 1Qは業績好調も、2Qの低調により、営業収益は微増、経常利益は減益

Ⅱ. 主な2Q業績の低調要因:

① 8月の**市場環境の急変に起因する減収**
② 円高進行に伴う海外保有の**外貨建有価証券に係る円貨換算額の減額**
③ **デジタル事業における資産(システム)処分損**の計上

Ⅲ. 個人顧客の**預かり資産純増額は**、前年同期比でほぼ**倍増**の高水準

2025年3月期 中間期決算概要

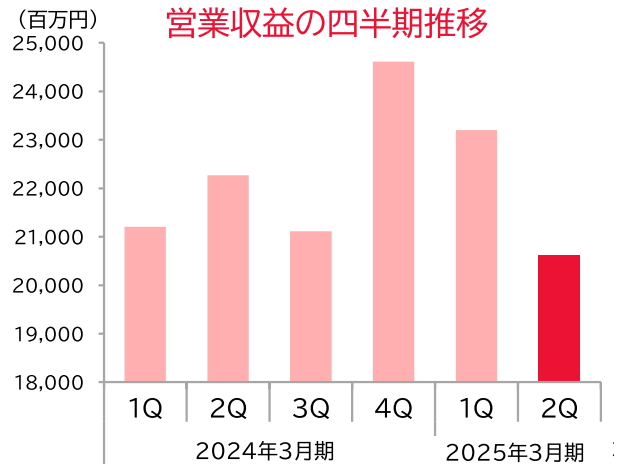
1Qは業績好調も、2Qの低調により、前年同期比で、営業収益は微増、経常利益は減益
2Qは外国株式取引フローの減収などから、前四半期比で減収減益。なお、純利益の減益率は47.1%

（単位：百万円）

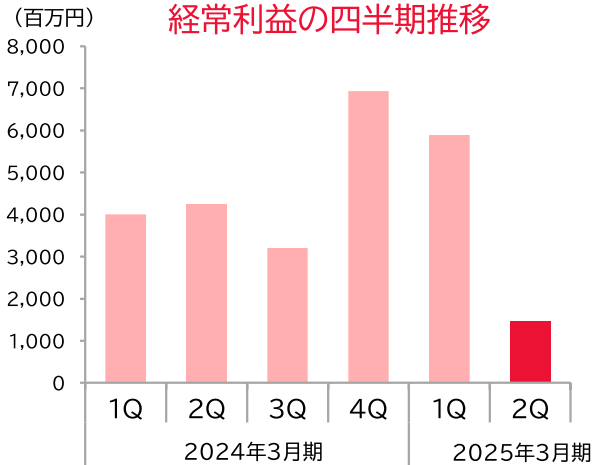
	2024年3月期				2025年3月期		2024年3月期 2Q累計	2025年3月期 2Q累計	前四半期比 増減	前年同期比（累計） 増減
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q				
営業収益	21,205	22,269	21,116	24,610	23,203	**20,607**	43,474	**43,810**	-11.2%	0.8%
純営業収益	20,615	21,588	20,538	23,949	22,623	**19,688**	42,203	**42,311**	-13.0%	0.3%
販売費・一般管理費	17,121	17,840	17,278	19,147	18,053	**17,756**	34,961	**35,809**	-1.6%	2.4%
営業利益	3,494	3,747	3,259	4,802	4,569	**1,932**	7,242	**6,501**	-57.7%	-10.2%
経常利益	4,004	4,252	3,210	6,930	5,893	**1,467**	8,256	**7,361**	-75.1%	-10.8%
親会社株主に帰属する純利益	1,998	2,626	2,498	3,066	3,271	**1,731**	4,625	**5,003**	-47.1%	8.2%
EPS（円）	8.03	10.55	10.03	12.29	13.06	**6.91**	-	-	-	-
BPS（円）	682.38	695.66	692.49	718.21	716.45	**721.52**	-	-	-	-
ROE（%）※1	4.7	6.1	5.8	6.8	7.3	**3.8**	5.4	**5.5**	-	-
一株当たり配当金（円）	-	12.0	-	16.0	-	**12.0**	-	-	-	-
配当性向（%）	-	64.6	-	68.5	-	**60.1**	-	-	-	-
配当利回り（%）※2	-	4.9	-	4.6	-	**5.0**	-	-	-	-

※1：ROEは年換算　※2：配当利回りは各期末の株価に基づき算出。また中間期については年率換算値

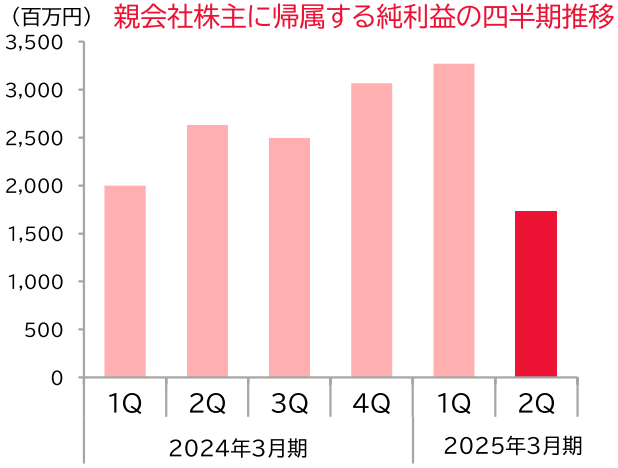
営業収益の四半期推移



経常利益の四半期推移



親会社株主に帰属する純利益の四半期推移



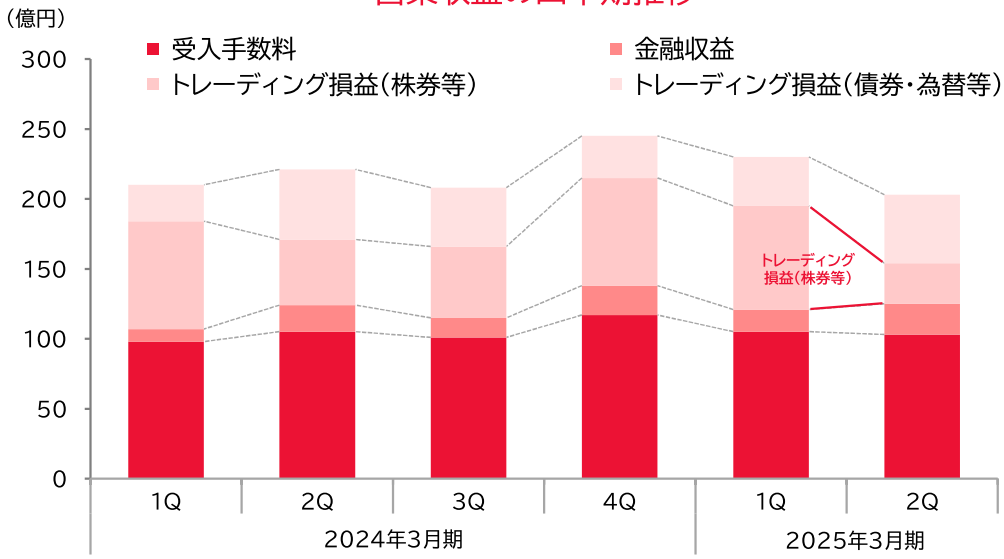
2025年3月期 中間期決算概要

2Q減収要因 :①日米株の委託手数料の減少 ②外国株式取引フロー等の減少(株券等トレーディング損益)
期中増収要因:①投信代行手数料・保険販売手数料の拡大(その他受入手数料)
②為替デリバティブ収益積み上げ(債券・為替等トレーディング損益)

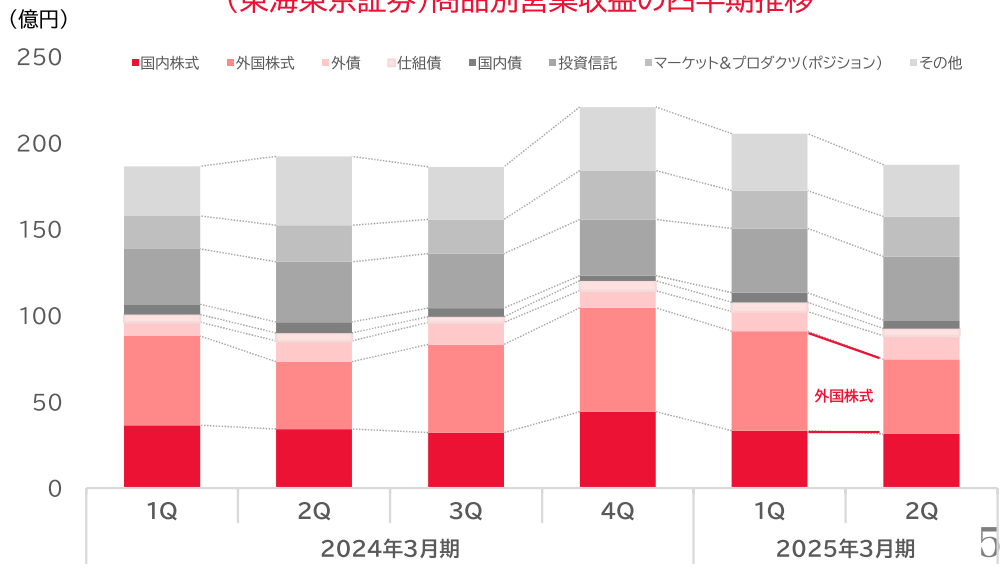
(単位:百万円)

営業収益の推移	2024年3月期				2025年3月期		2024年3月期 2Q累計	2025年3月期 2Q累計	前四半期比 増減	前年同期比 (累計) 増減
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q				
受入手数料	9,815	10,567	10,148	11,707	10,559	**10,384**	20,383	**20,943**	-1.7%	2.7%
委託手数料	4,283	4,039	3,873	5,586	4,212	**3,594**	8,322	**7,807**	-14.7%	-6.2%
引受け・売出し等の手数料	231	269	397	248	251	**214**	500	**466**	-14.8%	-6.9%
募集・売出し等の取扱手数料	2,009	2,341	1,877	1,953	2,297	**2,251**	4,351	**4,548**	-2.0%	4.5%
その他の受入手数料	3,291	3,916	3,999	3,919	3,797	**4,323**	7,208	**8,120**	13.8%	12.7%
トレーディング損益	10,398	9,777	9,478	10,784	11,001	**7,946**	20,176	**18,947**	-27.8%	-6.1%
株券等	7,790	4,741	5,193	7,771	7,477	**2,981**	12,532	**10,458**	-60.1%	-16.5%
債券・為替等	2,607	5,036	4,285	3,012	3,524	**4,964**	7,643	**8,488**	40.9%	11.1%
金融収益	990	1,923	1,489	2,119	1,642	**2,277**	2,914	**3,919**	38.6%	34.5%
営業収益計	21,205	22,269	21,116	24,610	23,203	**20,607**	43,474	**43,810**	-11.2%	0.8%

営業収益の四半期推移



(東海東京証券)商品別営業収益の四半期推移



2025年3月期 中間期決算概要

2Qにおける円高進行に伴い、為替換算損を計上

① 連結子会社となる会社型外国投信のうち、外部投資家が保有するドル建運用資産に係る為替換算損（株券等トレーディング損益）

～当該損失は「非支配株主に帰属する四半期純利益▲979百万円」に包含、当社純利益には影響しない。

② 海外子会社が保有する外貨建政策保有株式に係る為替換算損（営業外費用の「その他」）

（ご参考）ドル円レート推移：2024/3末@151円→6末@161円→9末@141円→11/15@155円

提携合弁証券7社の利益は概ね安定的に推移

✓ 2Qでは日米株取引における減収はあるが、概ね安定的な利益水準を確保

営業外損益の推移

（単位：百万円）

	2024年3月期				2025年3月期		2024年3月期 2Q累計	2025年3月期 2Q累計	前四半期比 増減	前年同期比（累計） 増減
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q				
営業外収益	740	484	-42	2,252	1,355	-47	1,225	1,307	-	6.7%
持分法による投資利益	66	109	74	255	52	-52	176	-	-	-
その他	673	375	-117	1,997	1,303	4	1,049	1,307	-99.7%	24.7%
営業外費用	230	-20	6	124	31	417	210	448	-	112.6%
持分法による投資損失	-	-	-	-	-	5	-	5	-	-
その他	230	-20	6	124	31	412	210	443	-	110.3%

上記「持分法による投資損益」に含む提携合弁証券利益

（単位：百万円）

	2024年3月期				2025年3月期		2024年3月期 2Q累計	2025年3月期 2Q累計	前四半期比 増減	前年同期比（累計） 増減
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q				
提携合弁証券（JV）	268	274	230	452	405	312	542	718	-23.0%	32.5%

2025年3月期 中間期決算概要

デジタル(子会社＋持分法損益)に係る業績の状況

(1) 上期における戦略上の変更点

・お金のデザイン　：持分比率を33.4%に引き上げ、社長の新規派遣による経営体制の変革

・Hash DasH HD：経営・事業運営に係る体制刷新(社長の新規派遣)、増資による財務基盤強化

(2) 業績 ～デジタル事業の本格展開に向けた会計処理を実行

・お金のデザイン　：持分比率上昇に伴うのれん償却額の追加計上、レベニューシェアの改善

・Hash DasH HD：旧経営体制下でののれん及びソフトウェアを減損処理、今後の経費を圧縮

・先行投資コストが続くが、CHEER証券等、提携協議を継続、アライアンス実現による収益化を追求

グループ各社別損益状況(連結)

(単位:百万円)

	2024年3月期				2025年3月期		2024年3月期 2Q累計	2025年3月期 2Q累計	前四半期比増減	前年同期比(累計)増減
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q				
東海東京証券	3,736	3,928	3,671	5,730	4,925	3,004	7,665	7,929	-39.0%	3.4%
提携合弁証券(JV)	268	274	230	452	405	312	542	718	-23.0%	32.5%
東海東京グローバル・インベストメンツ	164	254	-14	1,189	199	-276	418	-77	-	-
丸八証券	169	211	140	246	238	30	381	268	-87.4%	-29.7%
保険(ETERNAL、メビウス)	168	241	209	206	169	224	409	394	32.5%	-3.7%
M&A※1	-60	125	67	-40	-7	-5	65	-13	-	-
デジタル(子会社+持分法損益)※2	-823	-736	-792	-817	-976	-1,043	-1,559	-2,020	-	-
その他	379	-45	-300	-37	938	-779	335	162	-	-51.6%
連結経常損益計	4,004	4,252	3,210	6,930	5,893	1,467	8,256	7,361	-75.1%	-10.8%

※1 2024年3月期まではピナクルを含む。2025年3月期1Q はTTソリューション(旧　ピナクルTTソリューション)とマフォロバ、2025年3月期2Qはマフォロバのみ計上

※2 CHEER証券、TTデジタル・プラットフォームの経常損益およびお金のデザイン、Hash DasH Holdings、Digital Platformerの持分法投資損益を合計

2025年3月期 中間期決算概要

個人顧客の預かり資産純増額は、前年同期比でほぼ倍増の高水準

（単位：百万円）

資金・資産導入推移（個人）	2024年3月期				2025年3月期		2024年3月期 2Q累計	2025年3月期 2Q累計	前四半期比増減	前年同期比（累計）増減
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q				
入金	75,249	87,104	87,286	113,735	110,054	**122,461**	162,354	**232,516**	11.3%	43.2%
出金	81,572	68,996	84,848	93,314	87,459	**84,386**	150,569	**171,845**	-3.5%	14.1%
合計（入金-出金）	-6,323	18,108	2,438	20,420	22,595	**38,075**	11,784	**60,671**	68.5%	414.8%
入庫	49,349	39,710	38,407	43,127	34,913	**44,413**	89,060	**79,327**	27.2%	-10.9%
出庫	10,702	15,682	16,356	22,149	18,380	**40,844**	26,384	**59,224**	122.2%	124.5%
合計（入庫-出庫）	38,647	24,028	22,050	20,978	16,533	**3,569**	62,675	**20,103**	-78.4%	-67.9%
東海東京証券 純増	32,323	42,136	24,489	41,399	39,129	**41,645**	74,460	**80,774**	6.4%	8.5%
提携合弁証券　純増	-1,043	11,856	11,386	19,681	28,426	**56,059**	10,812	**84,485**	97.2%	681.3%
丸八証券　純増	-1,182	-698	-99	-1,241	1,103	**48**	-1,880	**1,151**	-95.6%	-
グループ合計	30,098	53,294	35,777	59,838	68,658	**97,753**	83,392	**166,411**	42.4%	99.6%

預かり資産残高推移

（単位：億円）

		2022/9	2022/12	2023/3	2023/6	2023/9	2023/12	2024/3	2024/6	2024/9
東海東京証券	株式	33,845	34,843	37,119	41,450	42,462	43,002	49,356	48,906	**45,822**
	外国株	1,739	1,535	1,951	2,479	2,601	2,744	3,309	4,003	**3,549**
	国内株	32,106	33,307	35,168	38,970	39,861	40,257	46,047	44,902	**42,272**
	債券	12,762	12,994	13,378	13,689	13,869	14,253	14,661	15,147	**16,003**
	外債	4,840	4,920	5,285	5,476	5,398	5,654	5,943	6,265	**6,372**
	国内債	7,921	8,074	8,093	8,213	8,470	8,598	8,718	8,881	**9,630**
	投信	13,119	12,885	13,406	14,353	14,366	15,007	16,240	16,767	**15,998**
	その他	611	611	597	764	803	773	875	909	**904**
	東海東京証券 計	60,338	61,335	64,503	70,258	71,502	73,037	81,134	81,730	**78,728**
丸八証券		1,814	1,814	1,930	2,188	2,245	2,253	2,667	2,754	**2,524**
提携合弁証券	ワイエム証券	3,132	3,145	3,252	3,611	3,669	3,732	4,101	4,253	**5,370**
	浜銀TT証券	5,585	5,701	5,988	6,625	6,749	6,871	7,608	7,966	**7,714**
	西日本シティTT証券	3,118	3,164	3,347	3,616	3,682	3,780	4,389	4,533	**4,326**
	池田泉州TT証券	1,630	1,724	1,866	2,125	2,258	2,348	2,654	2,822	**2,795**
	ほくほくTT証券	2,197	2,182	2,301	2,491	2,533	2,521	2,816	2,951	**2,791**
	とちぎんTT証券	1,429	1,409	1,479	1,611	1,645	1,667	1,813	1,852	**1,766**
	十六TT証券	1,886	1,856	1,976	2,128	2,149	2,163	2,396	2,513	**2,381**
	提携合弁証券 計	18,980	19,184	20,211	22,211	22,688	23,085	25,779	26,895	**27,147**
グループ 総計		81,132	82,334	86,646	94,659	96,438	98,380	109,590	111,390	**108,410**

東海東京証券のトピックス

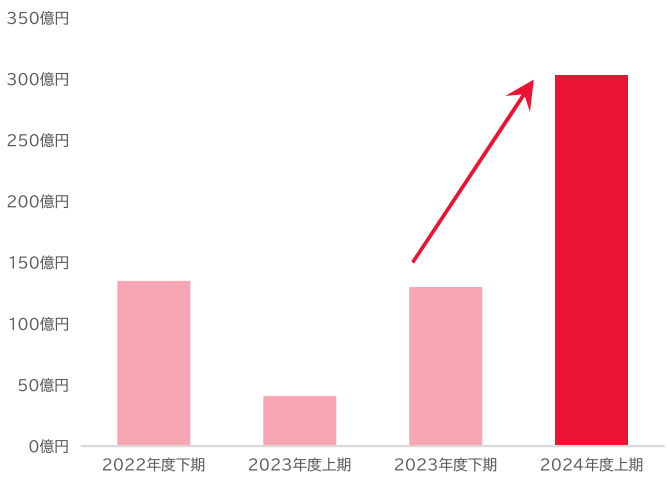
"Beyond Our Limits"
～異次元への挑戦

リテールカンパニー

Clair Ciel

・ファミリーポートフォリオ・マネジャー
・プライベート・キャピタルファンドの推進
・資産純増（過去最高）

【資産純増（個人）推移】

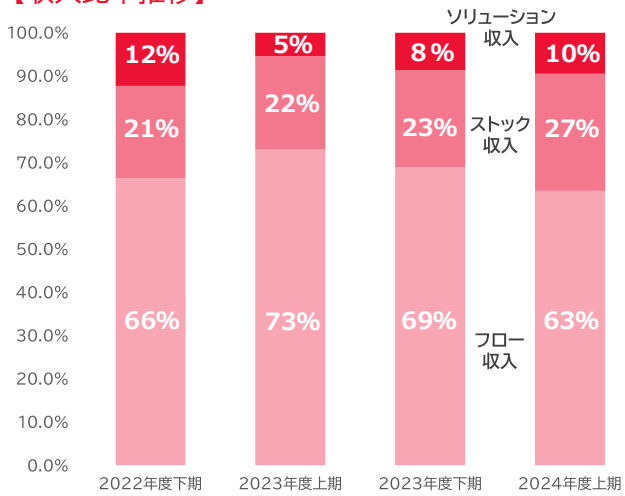


ウェルスマネジメントカンパニー

Orque d'or

・オルクドールメンバーの増加 / 資産純増
・ポートフォリオ提案 / 投資一任推進
・ソリューション（不動産・保険等）注力

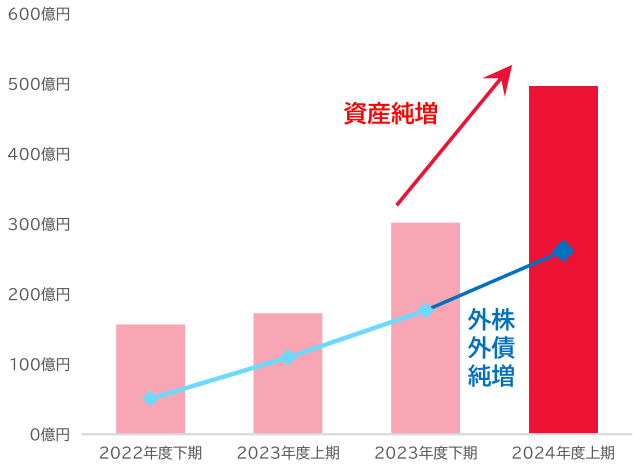
【収入比率推移】



IFAカンパニー

・富裕層顧客の増加
・保険系IFAによる「積立投資」の拡大
・資産純増 / 外株・外債純増（過去最高）

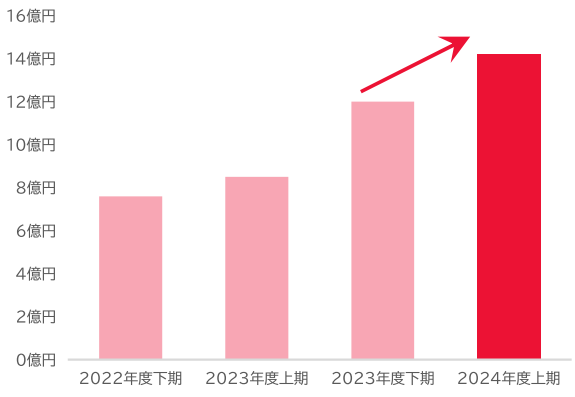
【資産純増（外株・外債純増）推移】



グローバル・マーケットカンパニー

・金利為替デリバティブの
収益拡大
・事業法人の収益・基盤拡大
・外国株式/外国債券の預かり
資産積み上げ
・レンディング取引開始

【金利為替デリバティブ収益（グロス）】



投資銀行カンパニー

・SB（地方債/事業債）の安定引受
・スタートアップ推進（STATION Ai
名古屋大学、東海東京証券で協定）
・AOYAMAスタートアップの活性化

2025年3月期上半期（4～9月）	順位
債券総合引受額ランキング	6位
IPO引受社数ランキング	9位



STATION Ai オープニングイベント


オルクドールピッチコンテスト

関係会社のトピックス

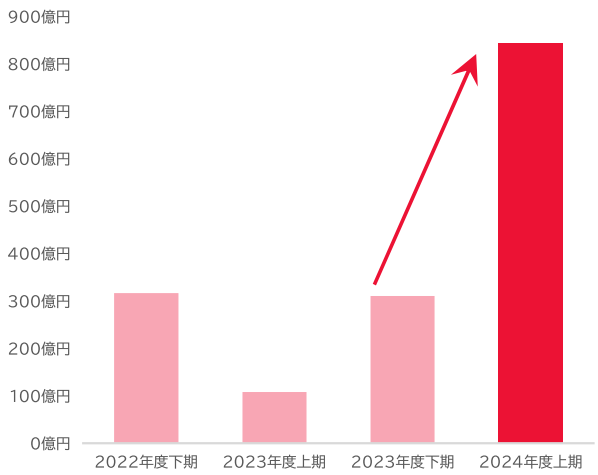
提携合弁証券

東海東京証券『営業戦略』の浸透 / サポート推進

【個人】
・ポートフォリオ提案推進
・富裕層ビジネスの強化
・資産純増（過去最高）

【法人】
・銀証連携/一体推進
▶ 地公体への提案強化と取引拡大

【資産純増（個人）推移】

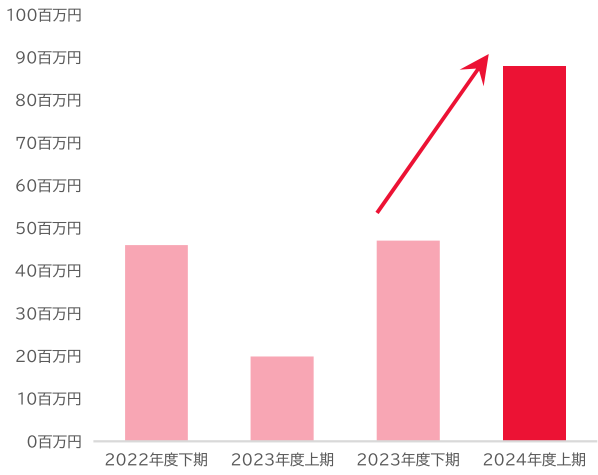


保険代理店ビジネス

【ETERNAL】
・営業利益（過去最高）
・集客強化施策展開
（既契約来店数の最高記録更新8・9月連続）

【メビウス】
・東京事務所開設、協業先の拡大（2社追加）
・コールセンター機能拡充に伴い、新オフィス開設（大阪難波）

【ETERNAL 営業利益推移】



デジタル子会社 / 関連会社

【お金のデザイン】
・グループにおける資産運用機能の強化を目的として同社株式を追加取得し、当社シェアを約33.4%に引き上げるとともに、代表取締役社長を派遣

【CHEER証券】
・ゆうちょ銀行、TEPCO i-フロンティアズ（東京電力グループ会社）との広告配信による連携を開始

【TTデジタル・プラットフォーム】
・職域アプリ「YORISO」を自社開発、企業による従業員への福利厚生・資産形成ツールとして活用
・地域創生の実現に資するべく、現地決済型ふるさと納税事業に参画

ベンチャーキャピタル

【東海東京インベストメント】
・LP出資先におけるEXITが収益に奏功（過去最高）

海外子会社

【東海東京グローバル・インベストメンツ】
・リラティブ・バリュー系の絶対リターン追求型戦略が低迷
・金利マクロ系ファンドの不調
・中国株におけるアルファ獲得不芳

【東海東京シンガポール】
・ジャパン・フェニックス・ファンド（ストラテジーAUM）が急拡大

2

戦略・ビジネスアップデート

・中期経営計画 “*Beyond Our Limits*”～異次元への挑戦
・資本政策 / 株主還元に関する基本方針
・『クレールシエル戦略』について

“Beyond Our Limits”～異次元への挑戦

目指す姿

「誇り」と「憧れ」を感じる企業グループ

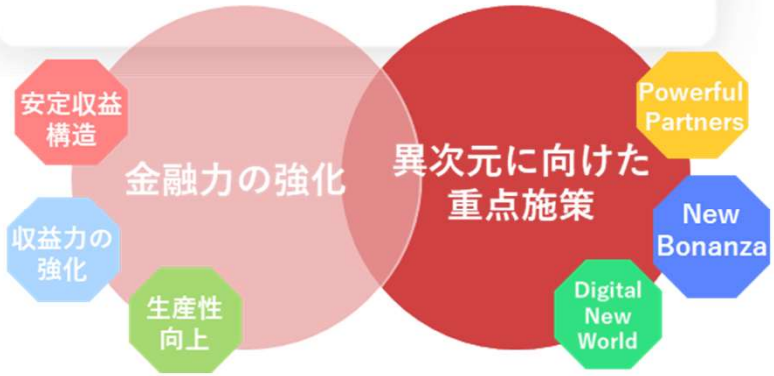
行動指針

“Social Value & Justice”
comes first

- よりよい社会に
- 凡事徹底
- わくわく

目指す地点

異次元の世界
“New World”



“Beyond Our Limits”～異次元への挑戦

“Beyond Our Limits”
～異次元への挑戦

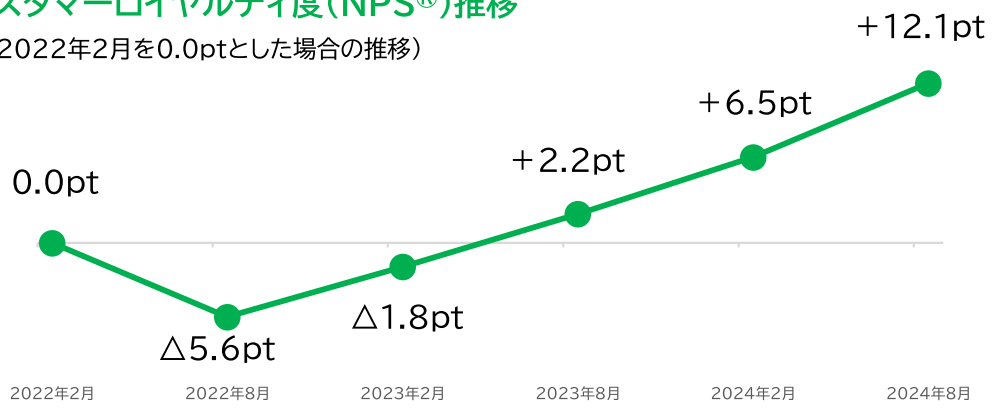
Group KGIと主なKPI

		23年3月期【実績】	24年3月期【実績】	25年3月期【半期実績】	27年3月期【計画】
Group KGI	預かり金融資産	8.6兆円	10.9兆円	10.8兆円	12.0兆円
	ROE	1.1%	6.2%※1	5.5%※2	12.0%
財務KPI	経常利益 ①【金融力の強化】	92億円	215億円	93億円	300億円
	東海東京証券	85億円	170億円	79億円	250億円
	安定収益/固定費カバー率	18.6%	21.0%	23.0%	20.0%
	一人当たり労働生産性	16.5百万円	21.5百万円	19.1百万円※2	23.0百万円
	経常利益 ②【異次元に向けた重点施策】	△28億円	△31億円	△20億円	60~100億円
Social Value & Justice KPI	お客様本位(*)	△1.8pt	+6.5pt	+12.1pt	+20pt
	従業員エンゲージメント	40%	41%	ー	63%

※1 過年度所得に係る英国での法人税等を控除したROE　※2 第2Q累計年換算

カスタマーロイヤルティ度(NPS®)推移

（2022年2月を0.0ptとした場合の推移）



従業員エンゲージメント向上に向けた取り組み

・社員のチャレンジを後押しする制度・組織風土の醸成
  ✓ 社内公募、ポジションチャレンジ制度
  ✓ Humanity Enhancement Program
  ✓ 国内外MBAスクールへの派遣
・人事部門と各部支店との意見交換および人事制度の情宣を目的としたキャラバン活動
・経営トップと若手社員との座談会開催
・社会貢献/社会課題の解決に資する活動（社内サステナビリティイベント、等）etc

＊東海東京証券のNPS®

NPS®は、ベイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、サトメトリックス・システムズ(現 NICE Systems, Inc)の登録商標。「Net Promoter Score(ネット・プロモーター・スコア)®」の略で、正味推奨者比率と訳され、顧客ロイヤルティ(企業やブランドに対する愛着・信頼の度合い)を数値化する指標。

企業価値向上に向けた取り組み ～資本政策・株主還元/IR活動

資本政策 ▶ 企業価値向上に資する資本活用を重視 ～資本効率、株主還元、成長投資

中期経営計画期間中の配当方針に基づき、12円の中間配当
① 親会社に帰属する連結純利益に基づく配当性向：50%以上 ②年間配当額：24円以上

◀ **配当方針**

資本の有効活用 ▶ 既存資本の効率性評価に基づく資本配賦の見直しにより、
資本の再配分と余力拡大による戦略分野への資本活用を実践

当社保有残高の半減に向けた取り組みの継続推進（2027年3月末）
～昨年9月末保有額 107億円を起点に、17億円 売却（進捗率32%）

◀ **政策保有株式の縮減**

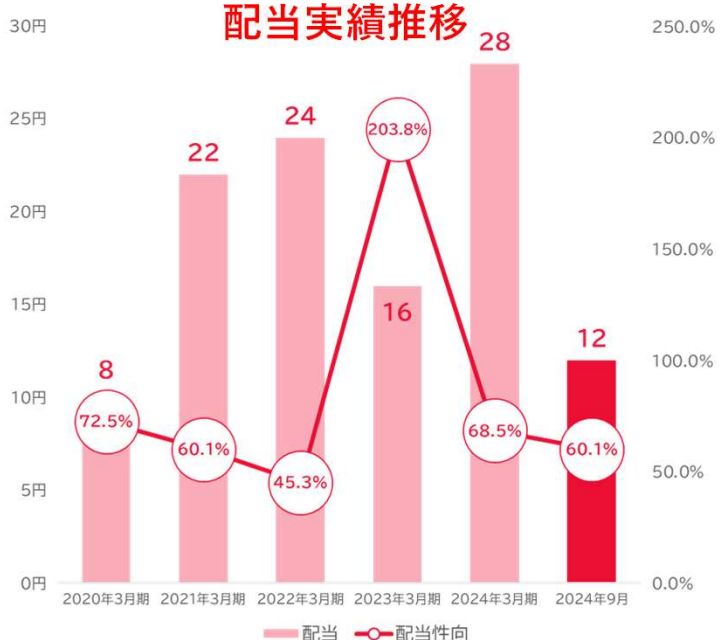
IR活動 ▶ 投資家とのエンゲージメント機会の拡充と対話の質の向上
・ラージ/スモールMTG ・1on1 MTG ・決算説明会（テレカン） ・海外IR ・事業説明会 ・開示資料の充実

連結純資産の内訳

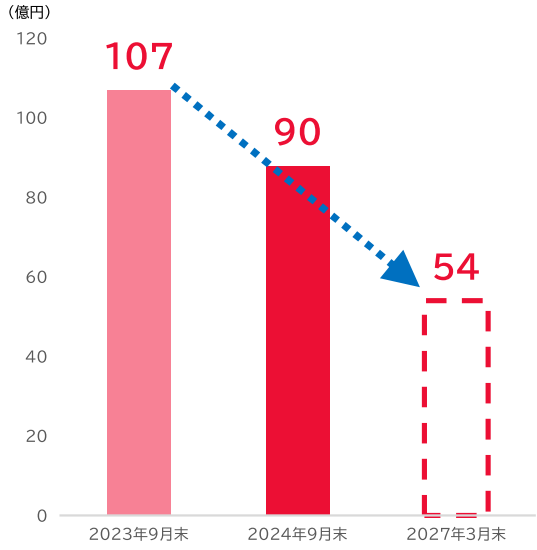


（2024年9月末）

配当実績推移



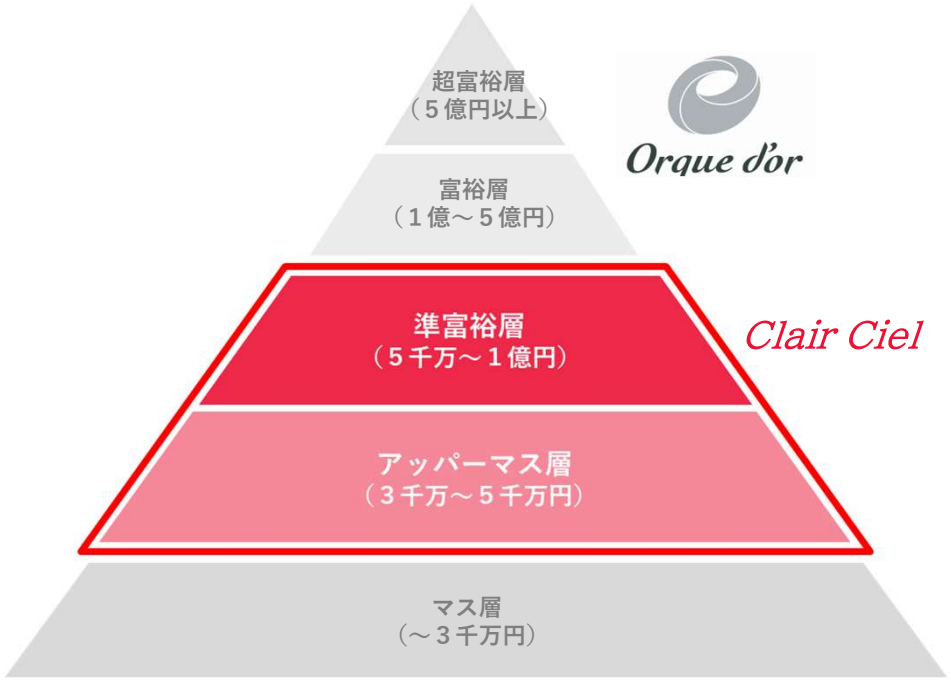
政策保有株式縮減

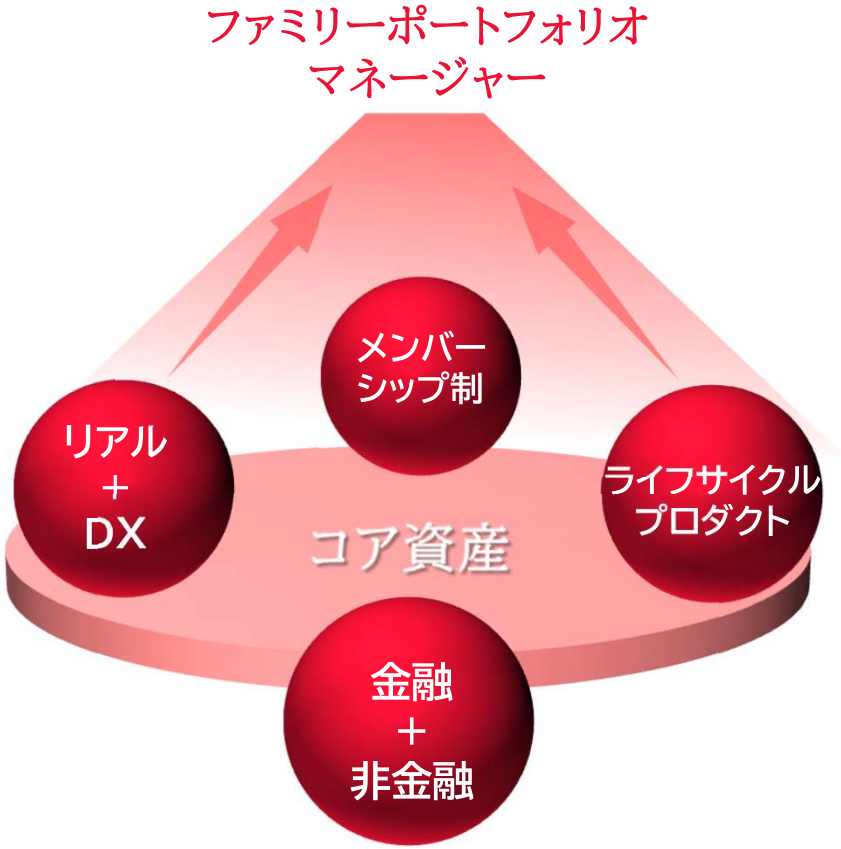


『クレールシエル戦略』について

クレールシエル(Clair Ciel)　明るい「Clair(クレール)」＋空「Ciel(シエル)」

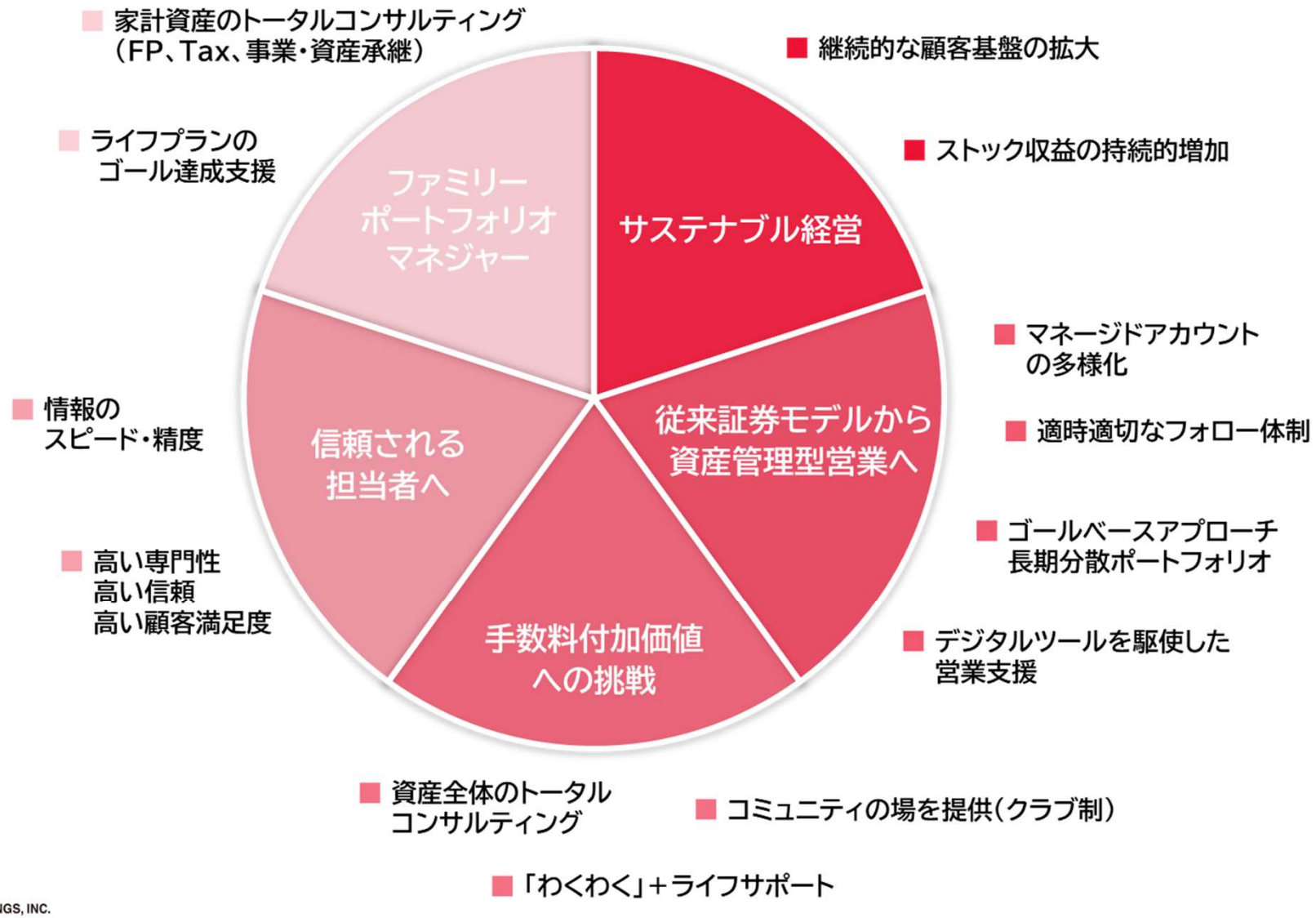
・富裕層向けブランド『オルクドール(Orque d'or)』に次ぐセグメントであるマスアフルエント層向けブランド
・オルクドールで培った経験を活かし、幅広い年齢層を対象としたコミュニティを形成
・マスアフルエント層のニーズに訴求する、金融・非金融を融合したサービスを提供することで東海東京ファンを醸成
・ライフサイクルにフィットするプロダクト戦略から、コア資産へアプローチし、ファミリーポートフォリオマネージャーとしての役割を果たす





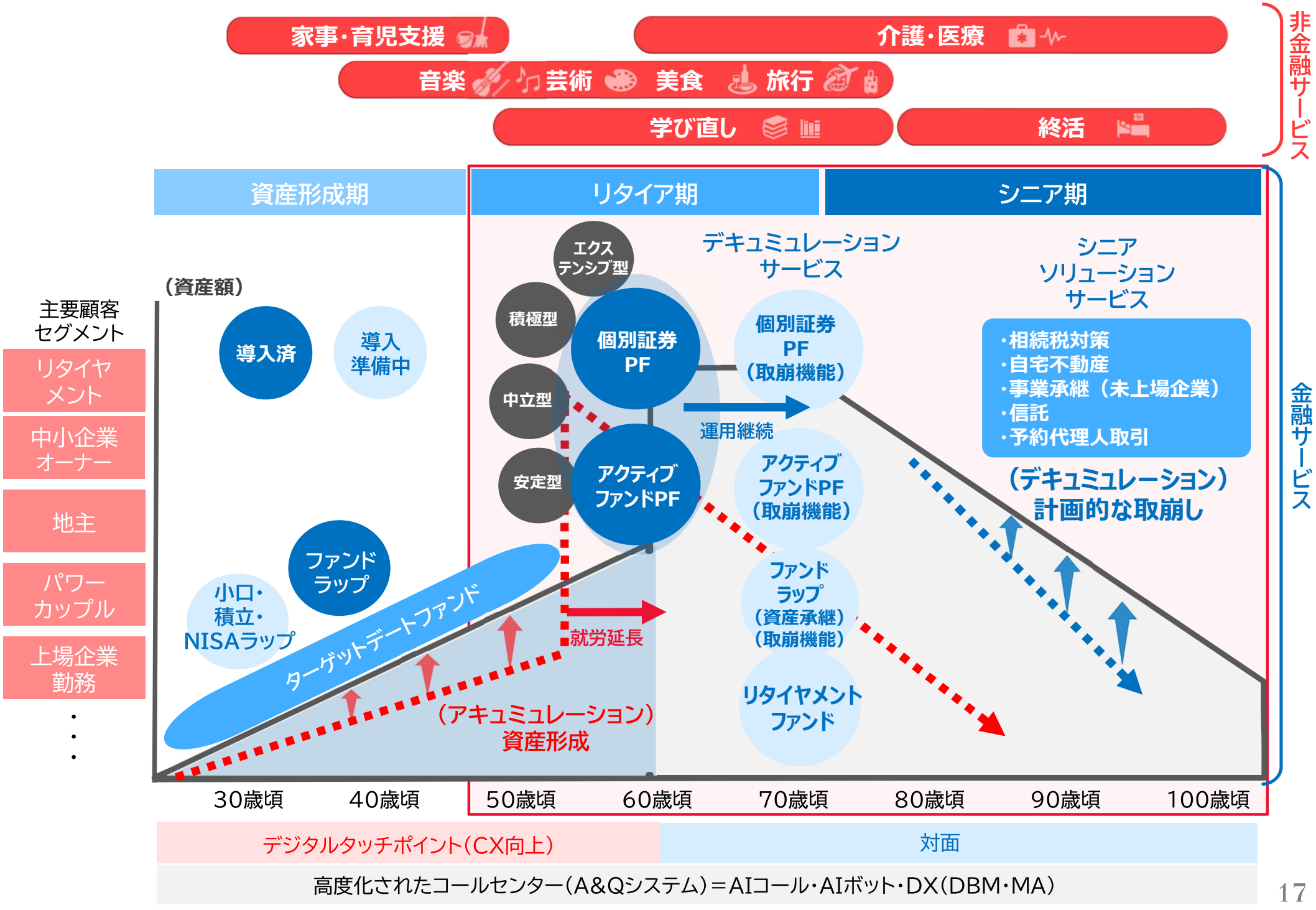
『クレールシエル戦略』について

クレールシエル戦略における目指すべき姿



『クレールシエル戦略』について

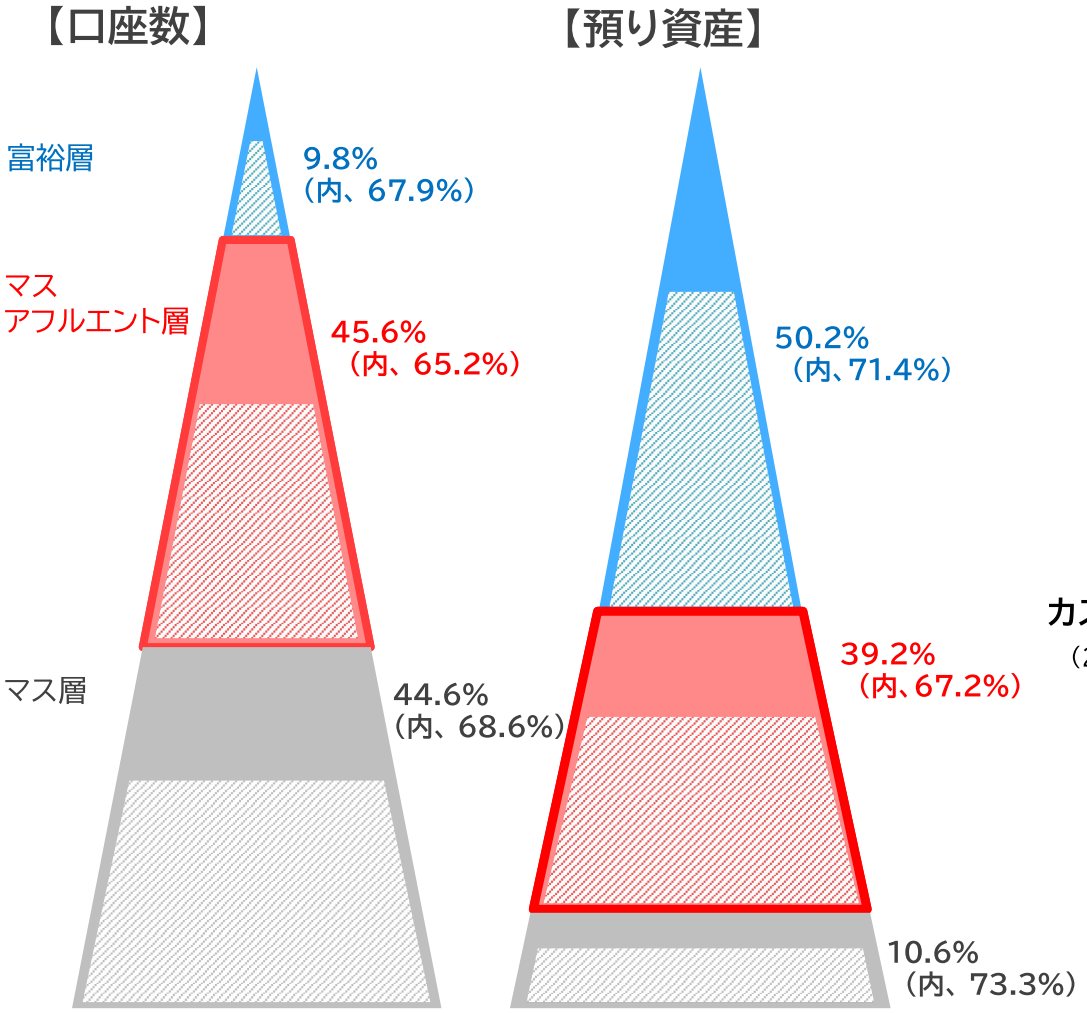
"Beyond Our Limits"
～異次元への挑戦



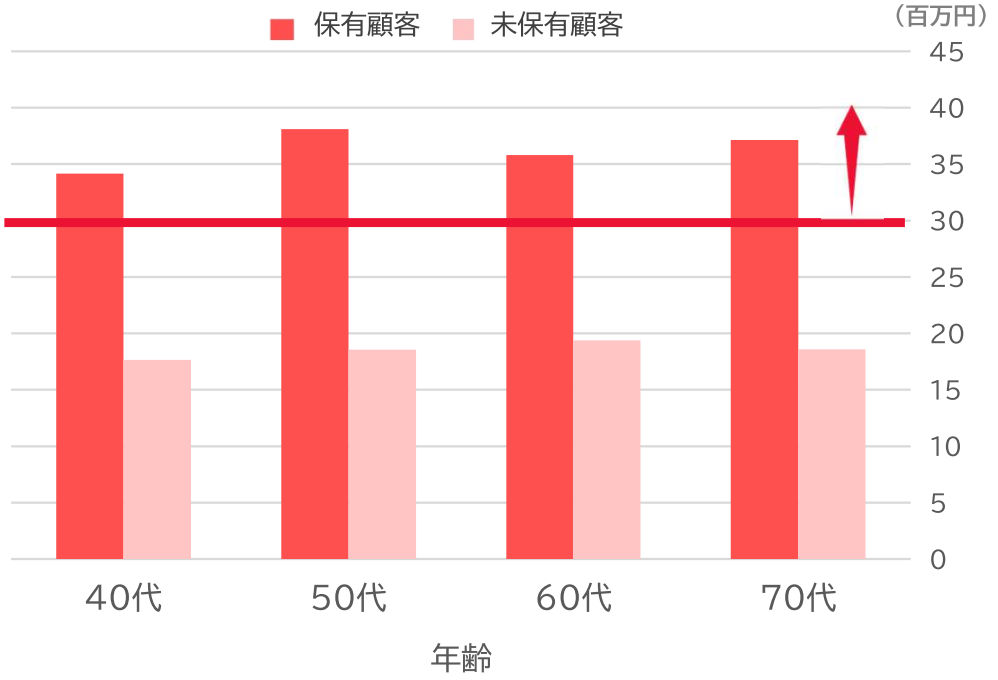
『クレールシエル戦略』について

対面チャネルにおける顧客層・預かり資産の分布

（2024年9月末時点）
※カッコ内の%および網掛けは40歳～79歳の顧客が占める割合



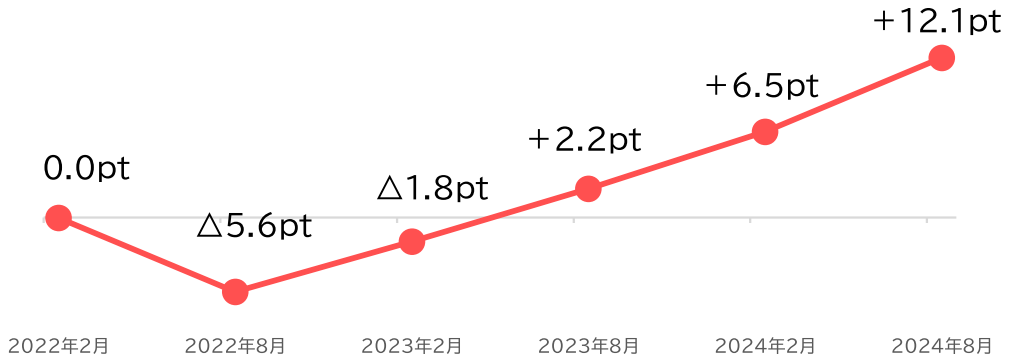
マスアフルエント層におけるポートフォリオ資産の保有有無による平均預かり資産の比較（年代別）



カスタマーロイヤルティ度（NPS®）推移

（2022年2月を0.0ptとした場合の推移）

ポートフォリオ資産保有顧客のNPS®は顧客全体と比較して+39.4pt高い



3

当社グループのハイライト

・Our History ～「挑戦」の歴史
・ 経営の問題認識
・ 事業ストラクチャー / 営業戦略 / 経営課題への対応方針

当社グループのハイライト

Our History ～「挑戦」の歴史

"Beyond Our Limits"
～異次元への挑戦

2000 2003 2005 2007 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

2000年10月
東京証券と東海丸万証券が合併、東海東京証券誕生

2009年 4月
持株会社体制へ移行、東海東京フィナンシャル・ホールディングス発足

経営計画 ▶
- 2006年4月～ Innovation Jump up 5
- 2009年4月～ TT Revolution
- 2012年4月～ Ambitious 5
- 2017年4月～ New Age's, Flag Bearer 5
- 2022年4月～ Beyond Our Limits

プラットフォーム戦略

基盤の拡大
地域金融機関や同業他社との提携証券機能の提供

- 2007年10月 ワイエム証券開業
- 2008年11月 浜銀TT証券開業
- 2010年 5月 西日本シティTT証券開業
- 2013年 9月 池田泉州TT証券開業
- 2016年 9月 エース証券持分法化
- 2017年 1月 ほくほくTT証券開業
- 2017年 4月 とちぎんTT証券開業
- 2017年 4月 高木証券子会社化
- 2019年 6月 十六TT証券開業
- 2021年10月 フィデアHDとの金融商品仲介開始
- 2021年 4月 エース証券と丸八証券子会社化

→ Powerful Partners

機能の拡充
証券機能の深化と新規機能の拡張

- 2007年 3月 カスタマーサポートセンター新設
- 2007年 6月 ラップ口座サービス開始
- 2007年 6月 デリバティブ業務開始
- 2007年10月 グローバルマーケットカンパニーによる提携合弁証券への商品供給開始
- 2011年11月 オンライントレード開始
- 2015年10月 提携合弁証券への情報提供、コンサルティングサポート開始（東海東京ウェルスコンサルティング）

→ New Bonanza

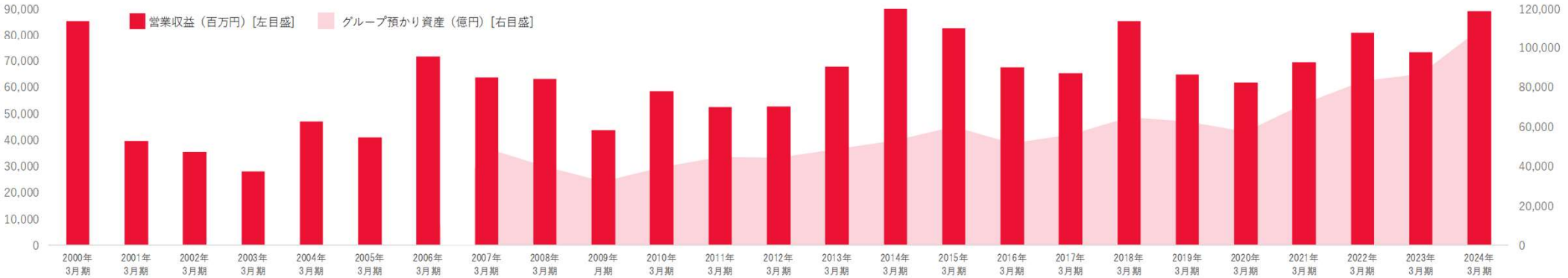
セグメント戦略

ターゲット層の分解
顧客ニーズに沿った最適なサービスの提供

- 2007年 3月 ミッドランドプレミアサロン開設
- 2010年 4月 トヨタFS証券との合併 → 職域サービスの提供
- 2012年 4月 ダイレクトチャネル本部設置
- 2013年 4月 本店営業部をウエルスマネジメント本部に改称
- 2015年11月 富裕層向け新ブランド「Orque d'or（オルクドール）」創設
- 2016年 3月 オルクドール・サロン（名古屋）開設
- 2019年 4月 オルクドール・サロンTOKYO開設
- 2019年 9月 IFAカンパニー設立
- 2024年 2月 オルクドール・サロンAOYAMA開設

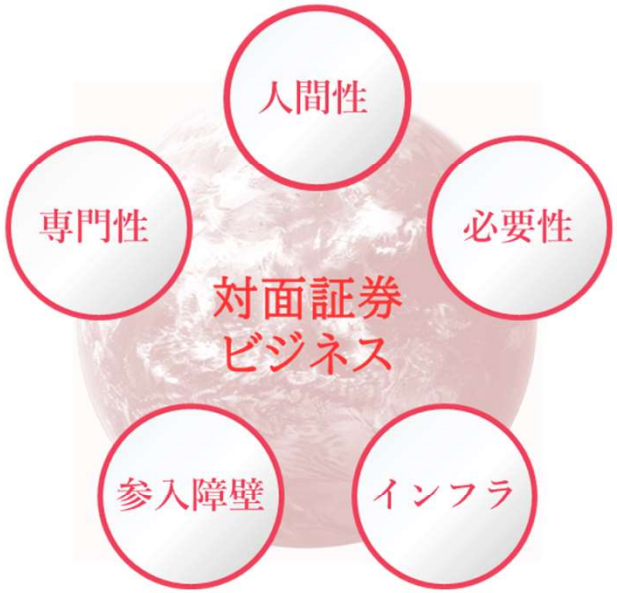
→ 金融力の強化

営業収益とグループ預かり資産の推移



経営の問題認識

対面証券ビジネスの特徴



ビジネスモデルの限界



環境の変化



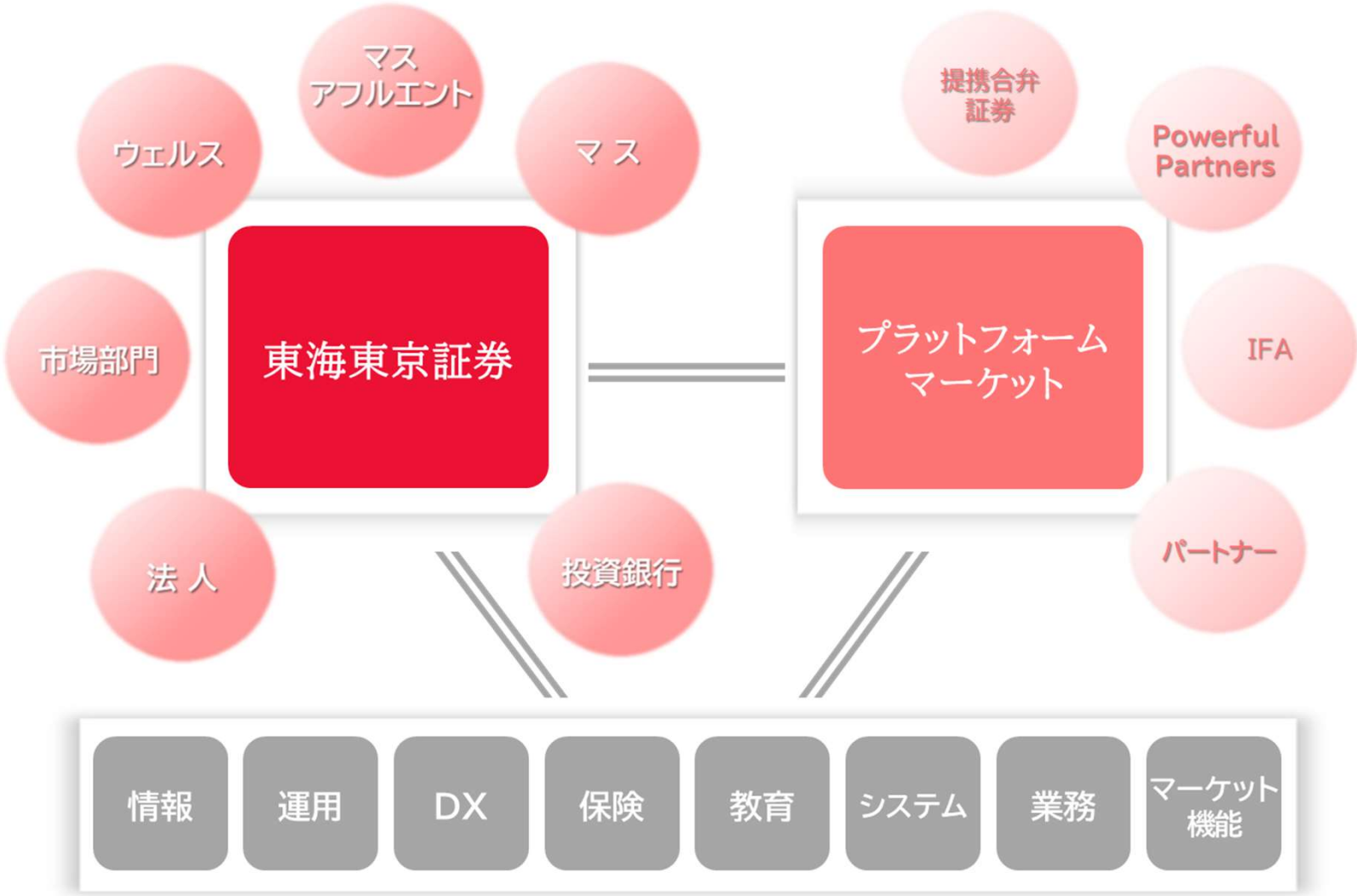
3つの選択肢
～「採算」と「成長」～

① 『株屋』
～旧来モデルでの生き残り

② 『事業会社との提携』
～成長提携モデルⅠ

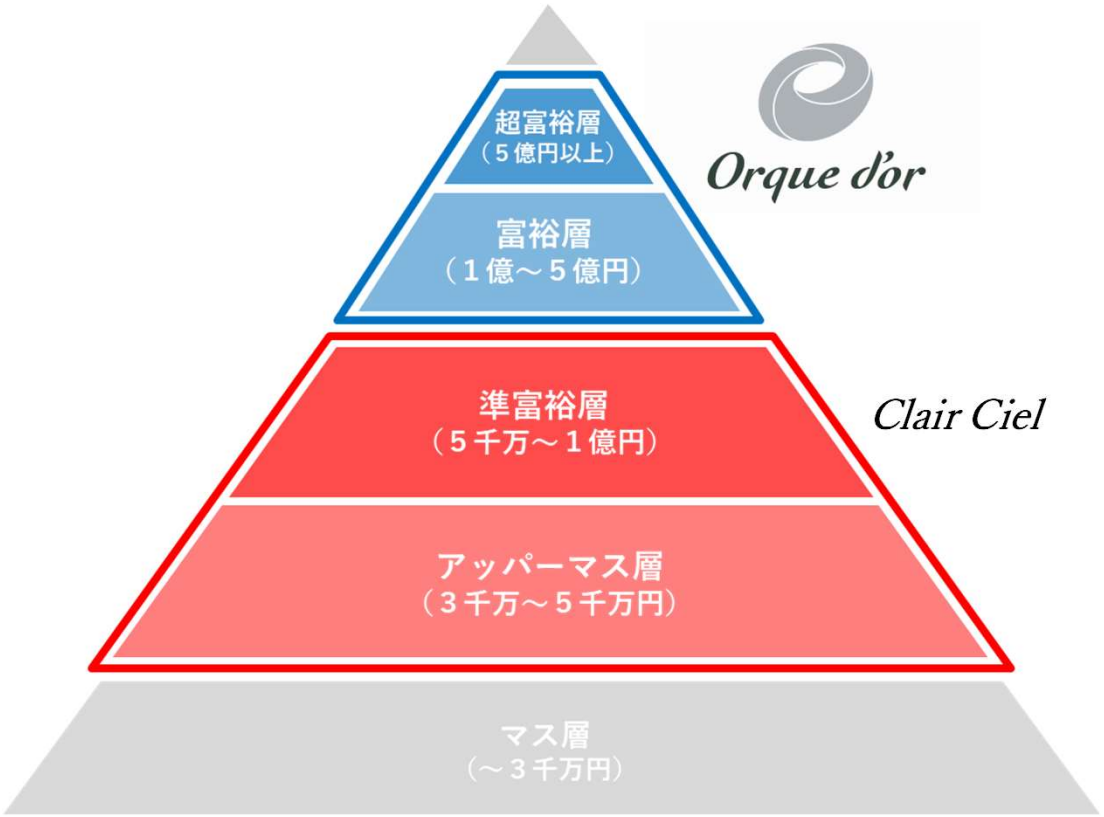
③ 『金融Gとの提携』
～成長提携モデルⅡ

事業ストラクチャー『Great Platformer』への道



営業戦略『ターゲット市場』

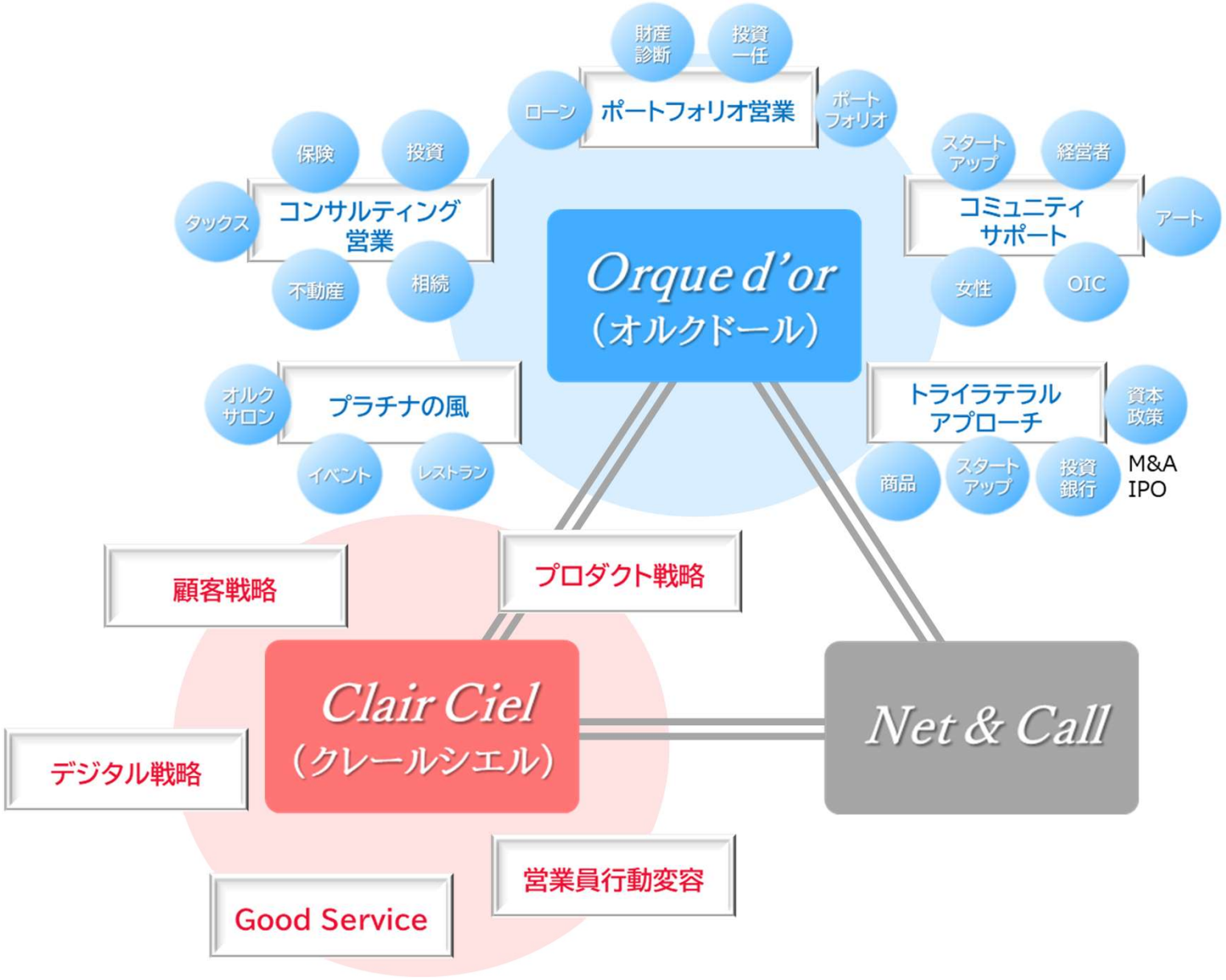
個人マーケット



市場・法人マーケット

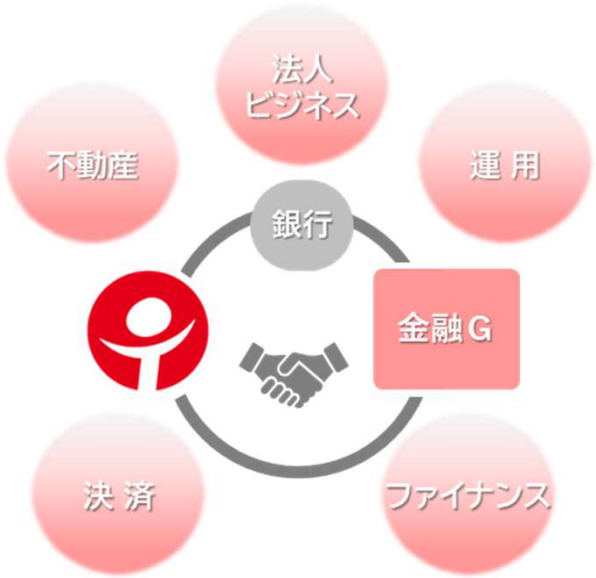


営業戦略『マーケティング』



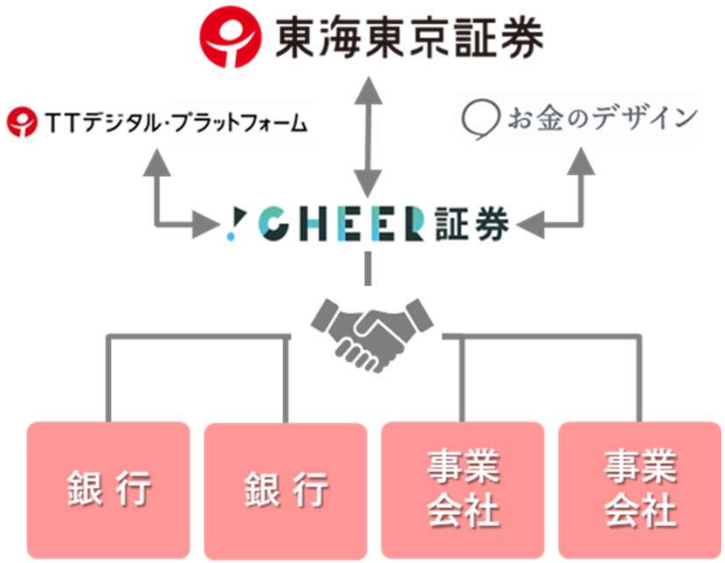
営業戦略『Powerful Partnersとの提携モデル』

Super Tie Up



個人顧客
（ウェルス層 / マスアフルエント層 / マス層）

Digital Tie Up



Bank Tie Up



Digital Bank

Key Factor for Success

・システム　・資 本
・人 材　　・資 産

経営課題への対応方針


再配分
配当政策
DX
レビュー
資 本
ROE 12%
収益増
IR
株 価
戦略実現
経 費
SDGs
システム活用
教育研修
採用多様化
資金調達
効率化
店舗統廃合
JOB見直し
人 財
チャレンジ
断捨離
報酬体系

投資家の皆さまへ

4

・お伝えしたい３つの事項

お伝えしたい３つの事項

当社グループは、金融・証券業界の情勢、事業環境・自社の課題を認識し、企業価値向上に資する成長戦略の一手を着実に打っています。唯一無二の戦略にご期待いただき、ぜひ「東海東京」への投資をご検討ください。

1 激動の時代を切り拓く
挑戦の姿勢と革新的な独自戦略

2 飛躍的な財務効果が見えてきた
『異次元の世界』と『Great Platformer』ビジョン

3 “誇り”と“憧れ”の存在感あふれるブランド力の浸透
～NPSの向上、SDGsの推進、エンゲージメントの改善

東海東京フィナンシャル・グループ概要

数字で見る TTFG

2024年9月末時点

純資産	1,934億円
時価総額	1,258億円
預かり資産	108,410億円
従業員数	2,779人



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

FTSE Blossom Japan Index

DX銘柄2021 Digital Transformation

DX銘柄2022 Digital Transformation

DX銘柄2023 Digital Transformation